

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回武蔵村山市防災会議
開 催 日 時	令和6年 7月 10日(水) 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	市役所3階 301会議室
出 席 者 及 び 欠 席	出席者：山崎会長、細見委員、長嶺委員、鶴田委員、河村委員、田中委員、福島委員、谷戸委員、山浦委員、伊藤委員（代理：古屋氏）、児玉委員（代理：天野氏）、内野委員、藤田委員、堀上委員、井出委員、安彦委員、岩瀬委員、小川委員、石川委員、池谷委員、雨宮委員、小延委員、今泉委員、湊委員、鳥海委員、加藤委員（計26名） 欠席者：桃北委員、小山委員、南委員、鈴木委員（計4名）
議 題	1：令和6年度武蔵村山市総合防災訓練（案）について 2：武蔵村山市地域防災計画修正方針（案）について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 「令和6年度武蔵村山市総合防災訓練（案）」について承認を得た。 議題2 「武蔵村山市地域防災計画修正方針（案）」について承認を得た。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ○印＝委員 ●印＝事務局	議題1について ○東京都水道局は、平常時はもちろん、災害時にも水道水の供給が可能となるよう、広域的な水道管ネットワークの構築や水道管の更新といった水道の強靱化策を実施している。さらに、災害時のバックアップとして、二系統化した管路の導入も進めていく方針を示している。一方で、ハード面だけでなくソフト面の防災策も重視し、避難所となる学校や公共施設で地元自治体と協力し、定期的な応急給水訓練を行うことも計画している。すでに施設への給水ルートの耐震化は完了しているため、訓練を通じて避難所への給水手順の習得を重視し、防災力強化を目指している。また、武蔵村山市における防災訓練では、東京都水道局が積極的に学校などでの応急給水訓練をサポートし、市町村との連携をより緊密に図るとともに、水道水の安定供給の重要性を認識し、安全・安心の確保に尽力していく。 ●引き続き協力をお願いしたい。 ○村山医療センターでは毎年独自の災害訓練を行っており、模擬患者を受け入れてトリアージや治療法、連絡手段などの手順を確認している。コロナ禍で訓練規模を縮小していたが、今年の訓練を10月6日で予定している。病院の特徴として、整形外科医が20人以上在籍し、そのうちの9人が自衛隊医官出身で熊本地震に実際に対応した経験を持つ医師が在籍しているため、災害対策の参考にもなると思うので協力させて頂きたい。 ●引き続き協力をお願いしたい。 ○応急給水のことに関して確認させていただきたい。武蔵村山市の避難所には給水セットや初期消火のためのスタンドパイプを備蓄しているのか。 ●避難所に備蓄している。

○自立支援協議会は、市内の障害者の生活改善や自立を支える活動を行っており、様々な課題を取り上げている。過去には、防災訓練に協議会のメンバーが参加し、ろう者や知的障害、身体障害のある人々も支援を受けながら参加する事例があった。特に、昨年度の防災訓練では車椅子の身体障害者が多数参加し、その際の改善点を障害福祉課から防災安全課へ提出している。障害がある人々も含めて多くの市民が防災訓練に参加し、自身が災害に遭った際の対応を考えることが目的であるからこそ、障害者対応を常に考慮に入れることが重要と認識している。具体的に、避難場所の開設時に障害のある人々を想定したコミュニケーションボードの作成を提案したい。これらの点は昨年度の結果を踏まえて今年度への要望とする。

●要望事項を反映できるように努めていく。

ろう者の対応については、手話通訳士の派遣を昨年要請しており、引き続き対応していきたいと考えている。

○手話通訳ができる旨の可視化や黄色いバンダナ（ヘルプバンダナ）を活用してほしい。

●訓練実施時の活用について検討していく。

議題2について

○消防団は、大規模災害時には大きな力を発揮し、人力的にも多く地域に密着していることから、防災機関として大きく頼ることになる。消防団の役割や活動が明確に書かれているか確認する必要があり、根拠を明確にするべきである。

また、消防団OBによる災害時活動応援隊を立ち上げているので、その活動の根拠も明確にするべきである。

●消防団員の力は、市の方でも重要なものと考えており、災害時に非常に大きな力となると考えている。計画内への記載についても改めて確認し、役割や根拠を明確にしていきたいと考えている。

また、4月に発足した武蔵村山市災害活動応援隊についても、明確化させていきたい。

○能登半島の地震でDHEAT第1班として被災地応援に出向き、当初は保健所支援の予定であったが実際には石川県庁と連携し、避難者の移動や福祉施設の動向、利用可能な福祉資源の調査に携わった。この経験を通し、避難所開設後の対応に時間が経つほど課題が生じ、その解決が難しいことを認識した。特に避難者が増えると地域全体の医療が脅かされる状況になり、医療、保健、福祉の視点から対策を検討することの重要性を感じた。

また、秋頃、保健所において、嘔吐物処理訓練を行う予定であり、参加していただくとありがたい。

●今回の能登地震に関しては、避難の長期化というところが大きな課題であると認識している。

また、1.5次避難所や2次避難所は、今まで福祉避難所のことを指していたが、ホテルへの避難も2次避難所というような報道がされている。計画修正に際し、混乱が無いように表現の修正を行うとともに、避難の長期化による避難者へのケアや災害関連死防止対策も検討していきたい。

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0人</p>
-------------------------	--

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： _____) </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>総務部防災安全課(内線：335)</p>
--------------	-------------------------

(日本工業規格A列4番)